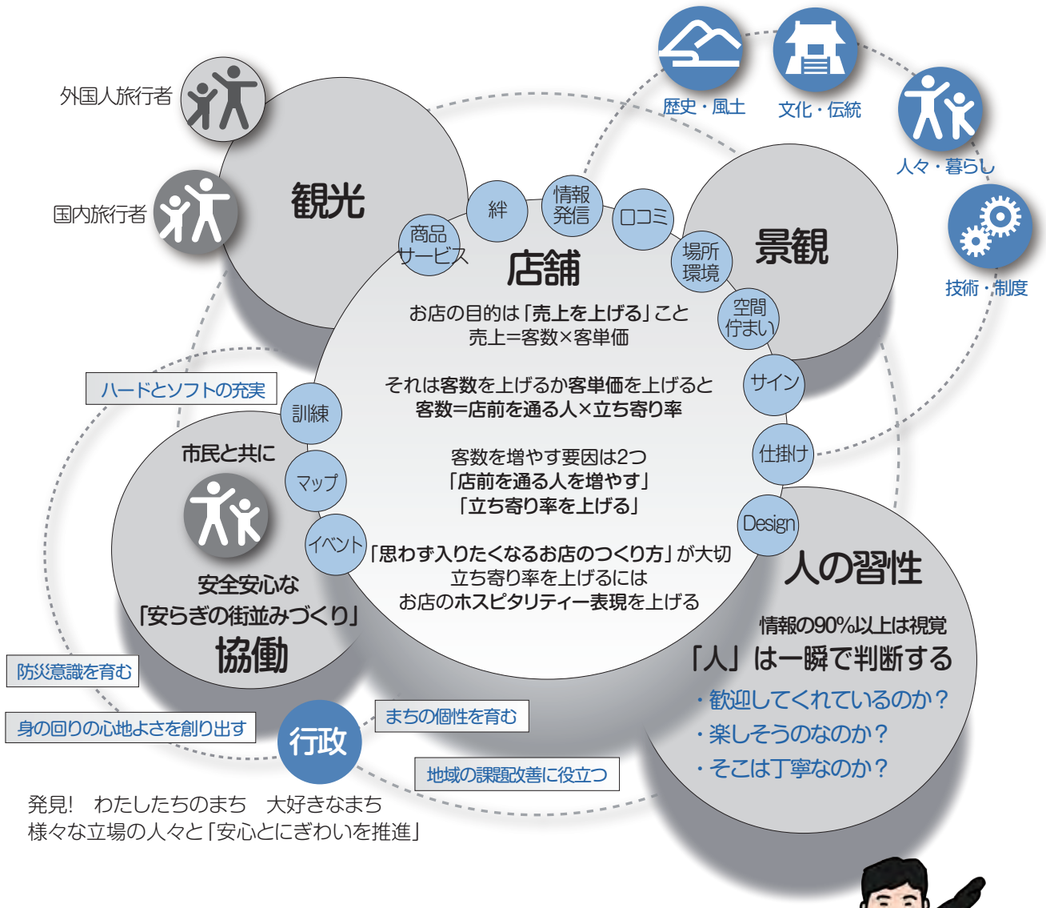
売上をのばす「店前景観づくり」の環境



お店に寄り添いアドバイスする
商店街景観レンジャー

店前の「おもてなし」の表現

1. 店前の道（舗装）が最重要
   （※舗装=公道と入口の間の場所ことをさす）
2. 店前に置く三種の神器

・「挨拶」の装置　（こんにちは）=花鉢、植物、等

・「迎客」の装置　（いらっしゃいませ）=のれん、照明、ベンチ、木のドア、等

・「集客」の装置　（買っていってください）=メニュー、看板、サンプル、等

重要度の比率 … 挨拶：迎客：集客 ＝ 3：2：1

人は自分を大切にしてくれるものを評価すると同時に「大切にしてくれないもの」も認識しています。
気をつけなければならないのが「拒絶の形」。
※ 拒絶の形 ＝ 壁、閉まった入口、ガラス戸、柵、塀などです。

内面に展開事例を掲載

気づけば 賑わい店

店舗経営者のみなさん！　お待たせいたしました。

お店の「魅力」をお客様お届けする3つの視点

繁盛店に向かうアドバイスをさせて頂きます。

挨拶「こんにちは～！」とお店が挨拶するポイント
（植物、花　、グリーンに着目）

迎客「いらっしゃいませ」と、お迎えの気持ちを伝えるポイント
（のれん、木製ドア、ベンチに着目）

集客「ここですヨ！」と、爽やかなお声がけのポイント
（スポット照明、間接照明に着目）

お店の「魅力」をお客様に知って頂き
今日をチャンスに変える3つの力

お店の目的は「売上を上げる」こと

売上＝客数×客単価

＝（店前を通る人×立ち寄り率）×（商品力×購買意欲）

＝（店前を通る人×立ち寄り率）×（品揃え×適正価格）×（情報発信×ホスピタリティ表現）

店前景観改善力　　商品魅力構築力　　個店情報発信力

立川市商連のたちかわ商店街研究会のメンバーが中心となって９年間の実績を街の店舗に展開しています。

JR 立川駅前は、有名百貨店、駅ビルモール街、大型ドラックストア、大型家電量販店が立ち並び、近郊では IKEA、ららぽーと、そして MEGA ドン・キホーテの開店など、多様化と大型化の店舗、空と大地と人がつながる”ウェルビーイングタウン”グリーンスプリングス、そして昔ながらの老舗店舗や、地域密着型商店街が多く存在しています。

繁盛店となる店前景観こそが、まさに都市型観光資源の「宝」です。

「輝かしい宝庫（店前）」を立川につくってまいりましょう。

立地環境も、立川市から先には豊かな自然環境が広がっており、まさに「**都市と自然を繋ぐ GATE の街**」と言えます。

その**都市型観光資源のコアである店舗の「輝き」**を創り出します。

まずは、**立ち寄り率の向上**をめざして店前景観の改善力に挑戦して参りましょう。

コーディネーター
中山 司
2023.07.28

店前景観推進事業 展開事例(2018~2019年)

売上を上げるには、「立ち寄り率」を上げることが重要です！３つの重要な視点を押さえて「店前景観」をブラッシュアップしましょう。立川市内で、このノウハウを活用して「売上」「収益」等をアップした実例があります。
立川市商連が、ノウハウと資金（総費用の 50％：上限 10 万円）を援助いたします。　ご一緒に、地元繁盛店をめざしましょう！

2018年度 立川市商連店前景観推進事業例

店前景観推進事業　事前景観

店主と店前景観改善（案）の検討

売上対前年同月比　120～140%以上のアップ

店前の提灯を増設したコトから、夕方以降の店舗認識が良くなり、
近隣ビジネスホテルの宿泊客が多く利用する様になった
（以前は週に１人位、現在は毎日数人が来店）
上記の顧客によりカウンターが夕方から満席となる。
（客単価は 2,000～3,000 円）

＜お客様、スタッフの声＞
お客様→店前が明るくなると、店内も明るく活気づいているように感じる。
スタッフ→店の前を通る人たちが、タペストリーを見ながら歩いている。

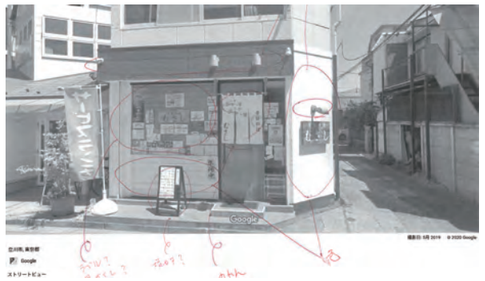
施工後に感じたことは、店前の景観が変わればもちろんお店のイメージも変わるのですが、通りが明るくなったことで商店街の活性化や、店舗の先に住んでいる学生やスタッフの防犯にも繋がると思いました。
当たり前のことですが、店を認知してもらうことが売上の結果につながり、いずれは地域貢献に結び付いていくのだと改めて感じることができました。

手羽先餃子と焼鳥酒場 立川ライアン　代表 小田原 潤

アフターフォローを展開して、メニューの刷新と原価見直しで、利益率が大幅にアップ（商品魅力構築力の強化を実施）。

手羽先餃子と焼鳥酒場 立川ライアン

2019年度 立川市商連店前景観推進事業例



店主と店前景観改善（案）の検討

店前すっきり、店舗認識率アップ

のれんパターン

基本的には料理、丁寧さが売り、感性が作る逸品ということなので
感性を感じさせるシンプルでおしゃれに見えるものがいいと思う
　イメージコンセプト展開
　丁寧を感じさせるのは「手」「上品さ」をキーワードに組み合わせて
　デザインを作る
　何屋かわかるように料理屋素材の写真

のれん展開バリエーション（案）

季節料理　むさし

店前がすっきりして、とても見栄えが良くなりました。
夜間ものれんが照明で照らし出されており、
遠くからも認識出来るようになり、店舗の
存在が、歩行者の他、クルマの中からも、
とてもよく見える様になりました。

新型コロナウィルスの影響で、休業が多く
稼働が出来ていないのが現状です。
また、アフターフォローを展開して、店舗内
の新型コロナウィルス対策も実施しました。
新型コロナウィルスが収まり通常営業出来る
日が楽しみです。